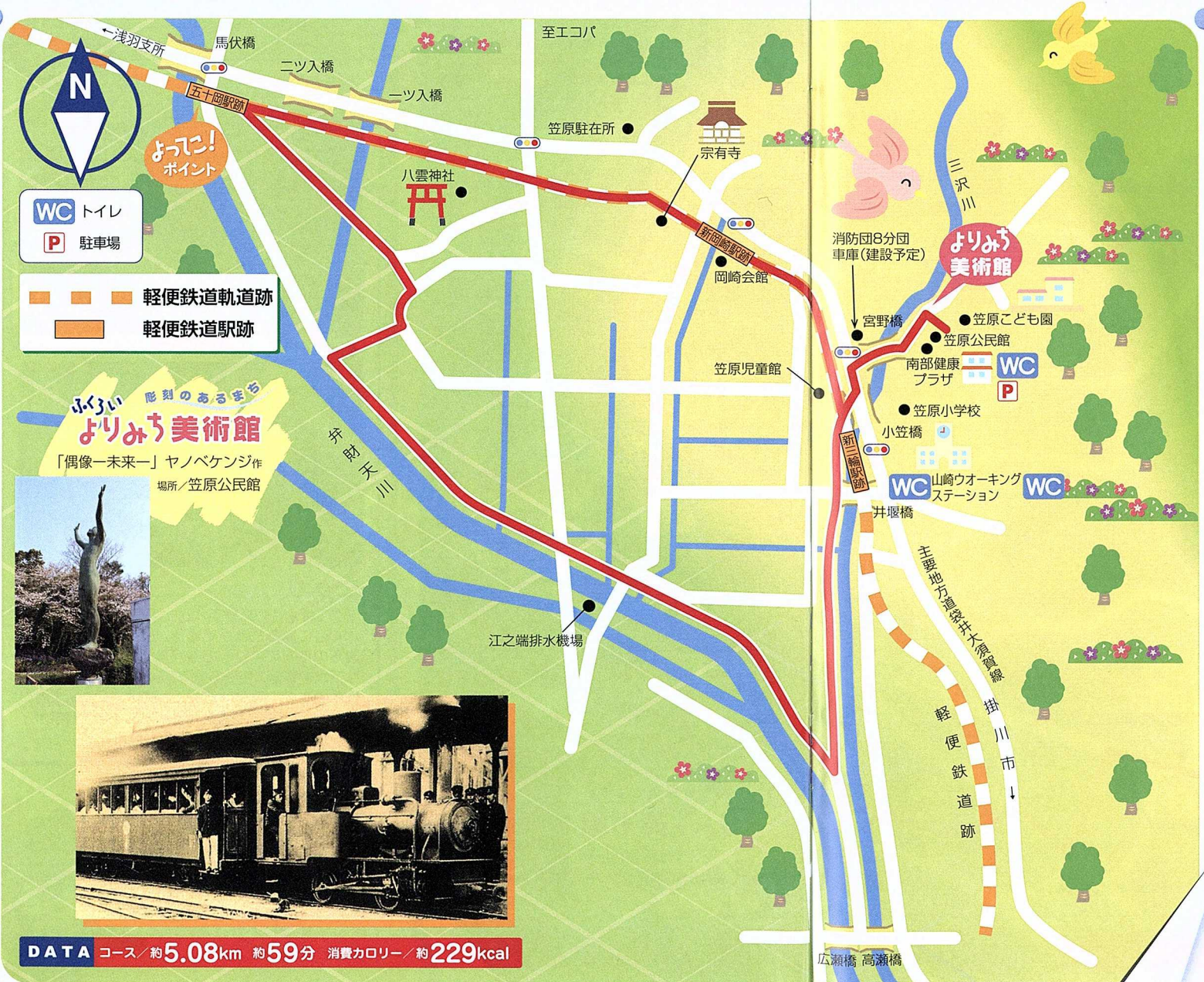


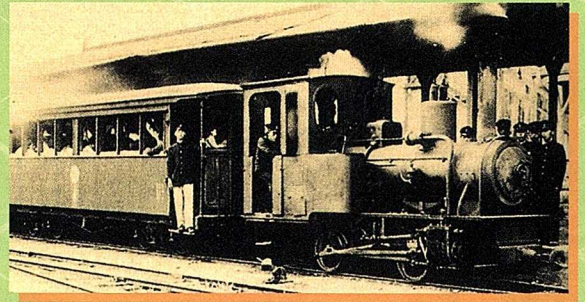
おぼえていますか、軽便鉄道が走っていた日々を

笠原軽便通り

昭和42年まで、この地には軽便鉄道が走っていました。全盛期は乗客や貨物輸送が頻繁に行われ地域の発展に貢献しました。しかし時を重ねるにつれてその光景を記憶する者も少なくなりました。当時をご存じの方は懐かしさを、またお子さんやお孫さんへ思い出を語りながら、ご家族一緒にウォーキングを楽しみましょう。



彫刻のあるまち
ふくろい
よりみち美術館
「偶像—未来—」ヤノベケンジ作
場所/笠原公民館



DATA コース/約5.08km 約59分 消費カロリー/約229kcal

よってこ！
ポイント



五十岡駅跡

軽便鉄道跡

現在は軌道跡が歩道として一部残されており、レンガ造りの橋脚や駅の跡地など所々で、当時を忍ばせる光景に出会う。この地を走っていた軽便鉄道は中遠鉄道がはじまりで、明治44年(1911)に笠原出身の県議会議員の呼びかけが発端であった。同じころ焼津・磐田間を結ぶ駿遠線が海沿いを走る計画が持ち上がり、実現した場合、この間に位置するまちは経済の谷間に落ち込んでしまうため地元が奮起。激しい誘致合戦により、資本金の2倍近い借金を背負って、中遠鉄道と駿遠線を結ぶ路線が開業した。先人の偉大な功績に感謝。

(生涯学習課発行「ふくろいと軽便鉄道」より)

軽便鉄道に関する情報をお寄せください
生涯学習課文化財係 ☎23-9264

